

第1回マイケル・ノーベル・エネルギー技術シンポジウム

2013年2月21日、東工大大岡山キャンパス

マイケルノーベル博士を招いて「アジアのエネルギーを考えるーサンベルトを中心とするアジア・エネルギー・ネットワーク（AEN）ー」について構想や課題を討議し、サンベルトを中心とするAENを日本の大学や産業界にどう位置づけていくか、今後の課題と展望について討議した。

インドからはデリー工科大学のシャルマ副学長と **Bergen Group** 会長の R.クマール カウラ氏が参加した。当初、インド地方政府からウッタール・プラデーシュ州首相のアキレッシュ・ヤダ氏が参加予定であったが、州内での事故が発生したため、残念ながら来日を取りやめた。日本からは、玉浦 裕教授による AEN 構想の提案、日産自動車の EV に関する講演と嶋田教授の磁気回生スイッチ（MERS）技術についての講演があった。

